

4. 学習案内



履修要項

(2020年度)

桜の聖母短期大学の学生という身分を引き受けたことを心にとめながら、豊かな学生生活を育む努力をしてください。みなさんが「カトリックの精神に根ざした人間観・世界観に基づく知的・倫理的見識を養い、豊かな心と深い教養をもって、愛と奉仕に生きる良き社会人」(建学の精神より)となれるよう、学修に取り組んでください。

この履修要項は、学則とシラバスと共に、特にみなさんの学修生活を援助するものです。履修に関して迷ったとき、この要項を参考にしてください。

1 授業

1. 1. 1 授業

授業は基本的に、通年科目の場合30回、半期開講科目(前期科目、後期科目)の場合15回行われる。また、教育上特別な必要がある科目においては、集中的に開講される場合がある。

1. 1. 2 開講時期による分類

授業科目を開講時期により次のように区分する。

- ①通年開講科目…前期、後期の1年にわたって行う授業科目(例外として1年から2年へ続く場合もある。)
- ②前期開講科目…前期のみ開講し、終了する授業科目
- ③後期開講科目…後期のみ開講し、終了する授業科目
- ④集中開講科目…ある一定期間に集中して行う授業科目

1. 2 授業時間

本学における通常の授業時間を次のように定める。

時 限	1	2	昼休み	3	4	5
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:10～ 13:00	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50

集中開講科目の授業時間は、一日の時間を最大360分以内とする。

1. 3 授業科目

1. 3. 1 授業科目の区分

- ①共通科目…本学の理念にそった人格形成を目指し、学科を問わず共通に学ぶ科目。
- ②専門科目…各学科の専門領域を深める科目。
- ③資格取得科目…免許や資格を取得するために必要な科目。

1. 3. 2 履修形態による分類

①必修科目

卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、単位の修得が必要な科目。

②選択必修科目

卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、複数の科目からなる科目群から定められた単位数を必ず選択し、単位を修得しなければならない科目。

③自由選択科目

上記の必修科目、選択必修科目と同じく、卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、定められた単位数を修得しなければならないが、各自が必要に応じて、あるいは卒業後の進路に照準を合わせて、自由に選択できる科目。

履修について→3
単位について→2

1. 3. 3 特別学習

特別学習科目は、共通科目、専門科目を補うものとして必要に応じて開講する。

1. 3. 4 年次配当

各授業科目は、1年次開講か2年次開講かが定められ、有機的に関連づけられているので、原則として配当された学年で履修する。

1. 4 休講と補講

- ①休講…担当教員のやむを得ない事情、またはその他の特別な理由により授業が行えない場合がある。このようなときには、原則として掲示により周知する。掲示のみでは周知できない場合には一斉送信メールシステム等を用いて周知する。なお、特別な理由により全学終日休講となる場合には原則として学内への立ち入りは禁止する。
- ②補講…担当教員のやむを得ない事情、またはその他の特別な理由で授業時間数が必要時間数に満たない場合には、原則として補講を行う。

2 単位制

2. 1 単位制

本学の授業科目の履修は、「短期大学設置基準」(文部科学省)に定められた単位制に基づいて行われている。単位とは、学習時間を表す名称であって、授業科目ごとに短期大学設置基準でその数が定められている。この単位数を積み重ねることによって、卒業に必要な条件を満たしていく。

2. 2 履修と単位の修得

授業科目の履修登録をし、実際に履修し(授業の予習・復習、実習、レポート作成など、授業時間以外の学習を含む)、試験その他の方法を経て、担当教員により一定以上の学習成果が得られたと判定されたとき、はじめてその授業科目の単位を修得したことになる。

本学では授業科目の単位修得に必要な学習時間の確保の観点から、学生が1年間に履修登録可能な単位の上限を設けている(キャップ制)。上限については各学科・専攻において別に定める。

単位の認定については→6. 4

2. 3 卒業に必要な単位

本学を卒業するために必要な単位数は、次のとおりである。共通科目20単位以上、専門科目40単位以上、さらに、共通科目あるいは専門科目より自由選択8単位以上、合計68単位以上。履修登録をする時、必要単位数以上に余裕をもって登録しておくことを奨める。

なお、資格取得科目および特別学習科目は、卒業に必要な単位には含まれない。

免許および資格の取得について→8

2. 4 生涯学習センター合同講座の単位認定

本学附置の生涯学習センターの合同講座を定められた手続によって学修したとき、学則第32条に従って、単位として認定される。認定された単位は、「単位互換科目」として、成績表に記載される。なお、あらかじめ指定した科目については、2. 3の卒業に必要な単位として読み替えられる。

2. 5 単位互換制度の単位認定

福島県高等教育協議会の単位互換制度または放送大学において他大学の科目を定められた手続によって学修したとき、学則第32条に従って、単位として認定される。認定された単位は、「単位互換科目」として、成績表に記載される。なお、2. 3の卒業に必要な単位として読み替えることを認める場合がある。

3 履修

3.1 大学における学修とは

定められたカリキュラムに添って授業を受ける中学校や高校とは異なり、大学では、各自が、自己責任のもとに、卒業に必要な単位について熟知し、自分で自分の時間割を作成しなければならない。そのためには、履修ガイダンスに必ず出席し、『学生ハンドブック』をよく読み、各自の学修計画を立てること。特に選択必修科目や自由選択科目に関しては、このことが必要である。

3.2 履修登録と変更・取り消し

履修科目は決められた期間に登録する。履修登録手順については、履修ガイダンス配布資料をよく確認すること。

また、登録した科目を変更する場合、原則として開講後2週間以内に学務部窓口申し出て、手続きをすませる。なお、履修科目の取り消しについても、同様である。

3.3 選択科目と人数

選択科目の履修登録者数が極端に少ないとき、その授業を開講しないことがある。原則として専任教員の授業科目で2名以下の場合、兼任教員の授業科目で6名以下の場合がこれにあたる。また、履修登録者数に極端な片寄りが生じた場合には、調整をすることがある。

4 受講(授業の出欠席)

4.1 出欠席・遅刻早退と評価

履修する授業科目の授業には、必ず出席しなければならない。欠席が学則に定める授業時間の3分の1を超えた場合には単位認定ができない。また、集中開講科目に関しては、1日の欠席が数時間分の欠席に相当することになるので、十分注意しなければならない。

なお、遅刻および早退は3回ごとに1回の欠席と数えられる。遅刻と早退の判別は各教員の基準によるものである。また、授業に出席した時間が授業時間の半分以下の場合、欠席とみなす。

欠席と試験の関係について→5. 4

4.2 病欠

病気のために連続して7日以上(休日を除く)にわたって欠席した場合は、医師の診断書(授業に出席できない期間を明記したもの)を学務部窓口提出することで、病欠として配慮されることがある。

4.3 欠席への配慮措置

以下の理由で欠席した場合、『欠席理由証明』(および定められた添付書類)を速やかに学務部窓口提出することが望ましい。科目の欠席が授業時間の3分の1を超えると、基準を超える欠席分を補講するなど、配慮することがある。ただし、欠席が2分の1を超える場合、補講等の実施は原則として行わない。

なお、これらの欠席は欠課レポートの対象となる。

欠課レポートについて→4. 4

①忌引による欠席

父、母(1親等)	7日
兄弟、姉妹、祖父母	3日
伯父(叔父)、伯母(叔母)	1日

②学生が本学を代表する責任を負って学外の公式の場に参加することを、学長が承認した場合。

③学校伝染病による欠席

学校保健安全法の定める「学校において予防すべき感染症」の診断を受け、決められた期間の出席停止となった場合、『欠席理由証明』に病名を記し、受診した医療機関の印を受けて提出しなければならない。

④災害などによる欠席

風水震災、その他非常災害によって交通が遮断された場合、天災・人災によって現住居が流失・破壊・焼失した場合、または交通機関の事故・ストライキに遭遇した場合、『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

⑤輸血、人命救助などによる欠席

この場合、学務部長の承認が必要である。また、『欠席理由証明』の他に、その事情を証明する書類の提出を求めることがある。なお輸血については、医療機関による緊急の要請以外は配慮措置の対象として認められない。

⑥学内・外実習、教育実習、実習事前オリエンテーション、介護等体験日、インターンシップによる欠席。

⑦就職試験が同じ時間帯に集中する場合。『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

⑧上記①から⑦のほか、学務部長が配慮が必要な欠席であると認めた場合。『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

4. 4 欠課レポート

欠席により学習がとどこおることを補うために、本学では、半期で授業時間数の5分の1以上欠席した場合、欠課レポートを義務付けている。該当する学生は掲示板に告知される。該当者は以下の手順で、欠課レポートを提出する。提出されない場合は単位認定ができないこともある。また、試験を実施する科目については受験資格を喪失する。

欠課レポート提出手順

- ①学務部窓口で『欠課レポート連絡票』を受け取る。
- ②科目担当者に課題を問い合わせる。
- ③科目担当者の指定する期日までに課題を提出、承認印を受ける。顧問印も受ける。
- ④学務部窓口で『欠課レポート連絡票』を提出する。

5 試験

5. 1 試験とは

授業の理解度をはかり、単位を認定するために試験が行われる。

5. 2 受験心得

試験を受けるにあたっては、『試験についての心得』を遵守し、試験の運営については、科目担当者(試験監督)の指示に従う。

5. 3 不正行為

試験に際して不正行為が認められた場合には、当該科目の評価は不合格とする。また、学則の規定に基づき処分の対象となる。

5. 4 受験資格の喪失

次の場合、試験を受ける資格を喪失する。

- ① 欠席時間数が学則に定められた時間数の3分の1を超えた場合。
- ② 欠課レポート課題を試験期日までに提出しなかった場合。
- ③ 試験の開始後、所要時間の半ば以上遅刻した場合。

5. 5 試験に欠席した場合と追試験

病気、事故その他やむを得ない事情(→4. 2、4. 3)によって試験に欠席した場合は、追試験の実施を科目担当者に申し出るにより、追試験が実施される場合がある。

6 評価と成績

6. 1 評価

履修登録した者に対しては、試験により成績を判定し、その結果により単位を与える。授業科目によっては、レポート提出等でこれにかえる場合もある。その他、授業中に小テストが行われる場合もあり、これも成績評価の際の重要な要素となる。

6. 2 成績評価

各科目の成績評価は100点満点中の得点として算出し、60点以上を合格とする。ただし、就職や編入学のために学外に発行する成績証明書には、秀・優・良・可で記載する。

判定		合格				不合格
評価	学内	90点以上	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満
	学外	秀	優	良	可	記載せず

6. 3 グレード・ポイント・アベレージ(GPA)

本学は学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と学生支援に資することを目的としてグレード・ポイント・アベレージ(履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。)を算出する制度を定めている。グレード・ポイント(各評価にあたえられる数値(評価点)。以下「GP」という。)は次表のとおりとする。

成績評価	GP	評価基準	合否
秀(90点以上)	4	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	合格
優(80～89点)	3	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	合格
良(70～79点)	2	到達目標を達成している	合格
可(60～69点)	1	到達目標を最低限達成している	合格
認定※1	対象外		
不可(60点未満)	0	到達目標を達成していない	不合格

※1 学則第31条、第32条、第33条の規定により単位を認定したもの

学期GPA及び累積GPAの計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示するものとする。

(1) 学期GPAの計算式

$$\frac{\text{(当該学期に評価を受けた科目で得たGP)} \times \text{(当該科目の単位数)} \text{の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\frac{\{\text{(各学期に評価を受けた科目で得たGP)} \times \text{(当該科目の単位数)} \text{の合計}\} \text{の累計}}{\{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計)} \text{の累計}}$$

6. 4 単位の認定

欠席時間数が学則に定められた時間数の3分の1を超えた場合、単位認定はできない。また、通年科目で、半期の欠席が3分の1より多い場合も、単位認定はできない。

6. 5. 1 再試験等

履修科目の評価が、合格評価60点に達しないとき、該当者の学籍番号と科目番号、再試験の日時等に関して、掲示により告知する。なお、保護者にも連絡する。該当する学生は告知から3日以内に受験申込書により再試験を申し込むか、再試験放棄届を学務部に提出しなければならない。再試験を申し込む場合には、受験申込書に受験料金(2,000円)を添える。願い出ると、再試験を受けることができる。しかし、再

試験が告知されても受験しない場合は単位認定できない。また、再試験に代わってレポート等の提出物を課する場合がある。提出物は、本人が所定日時までに学務部窓口を持参しなければならない。

なお、再試験を受けて合格した科目の評価は、60点とする。

6. 5. 2 再試験に関する注意点

再試験当日の欠席については、4. 2、4. 3に該当する欠席の場合のみ、『欠席理由証明』の提出を条件に対応する。

また、試験の開始後、所定時間の半ば以上遅刻した場合は、受験資格を喪失する。

6. 6 再履修

必修科目の単位が認定されなかった場合、次年度にもう一度その科目を再度履修することになる。また、選択必修科目の単位が認定されなかった場合も同様である。

6. 7 成績表配布

前期の成績表は9月下旬頃、自宅に郵送される。後期および学年の成績表は3月下旬頃、自宅に郵送される。各自、修得できた単位を確認し、次の学修計画を立てる上での参考にする。

7 休学・復学・退学・転学科・再入学

休学、復学、退学、転学科、再入学については、学則第4章に従って行う。

8 免許および資格の取得

8. 1 教育職員(栄養教諭二種)免許状の取得

卒業するために必要な単位に加えて、教職の資格取得科目(別表)を修得すると、生活科学科食物栄養専攻では栄養教諭二種免許状を取得することができる。免許状の取得については、若干名とし、選考により決定する。

免許状の取得の条件

免許状の取得に不可欠な教育実習と教育課程を履修する学生には、成績や出席などにより、履修生にふさわしいだけの学力と意欲を問う。これは、教職に就く人材を送り出す本学の社会的責務を考え、さらに地域の学校で教育実習を行う学生に、その責任の重さを認識させるための条件である。

教育実習などの履修の承認と登録

免許状の取得を望む学生は、1年次の6月末日までに、教育実習と教育課程履修申し込み用紙を顧問の教員に提出する。履修の承認は、原則として入学後2ヵ月半の成績等を参考に学科会でなされ、その結果は、1年次9月末日までに学科長から直接知らせる。承認された学生は、学務部窓口で履修登録を行う。承認された後、成績等が著しく低下した学生については、承認を取り消すことがある。

8. 2 教育職員(幼稚園教諭二種)免許状の取得

卒業するために必要な単位に加えて、教職の資格取得科目(別表)を修得すると、生活科学科福祉こども専攻こども保育コースでは幼稚園教諭二種免許状を取得することができる。

免許状の取得の条件

免許状の取得に不可欠な教育実習などを履修する学生には、成績や出席などにより、履修生にふさわしいだけの学力と意欲を問う。これは、教職に就く人材を送り出す本学の社会的責務を考え、さらに地域の幼稚園で教育実習を行う学生に、その責任の重さを認識させるための条件である。

教育実習などの履修の承認と登録

生活科学科福祉こども専攻こども保育コースの全学生は、幼稚園教諭に関する科目を履修登録するが、成績等が著しく低下した場合、履修を取り消すことがある。

8. 3 保育士資格の取得

生活科学科福祉こども専攻こども保育コースの学生は、他学科、他専攻の学生とはカリキュラムが異なり、児童福祉法(昭和22年法第164号)の規定に基づいて、保育士の資格を取得することが学修の中心となる。

8. 4 栄養士免許の取得

生活科学科食物栄養専攻の学生は、他学科、他専攻の学生とはカリキュラムが異なり、栄養士法の規定に基づいて、栄養士の免許を取得することが学修の中心となる。

8. 5 ビジネス実務士資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、ビジネス実務士の資格取得科目(別表)を修得すると、全国大学実務教育協会の定める「ビジネス実務士」の資格を取得することができる。

8. 6 実践キャリア実務士資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて実践キャリア実務士の資格取得科目(別表)を修得すると、全国大学実務教育協会の定める「実践キャリア実務士」の資格を取得することができる。

8. 7 司書資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、司書の資格取得科目(別表)を修得すると、文部科学省の定める「司書」の資格を取得することができる。

8. 8 ピアヘルパー受験資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、ピアヘルパーの資格取得科目(別表)を修得すると、ピアヘルパーの受験資格を取得ことができ、その試験に合格すると資格を取得することができる。

8. 9 社会福祉主事任用資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、社会福祉主事任用資格の資格取得科目(別表)を修得すると、「社会福祉主事任用資格」を取得することができる。

8. 10 法規等で定められる科目名の対照表

法規等で定められる科目名は別添対照表のとおりである。

- ① 栄養教諭二種免許状に関する科目
- ② 幼稚園教諭二種免許状に関する教職科目
- ③ 幼稚園教諭二種免許状に関する教科科目
- ④ 栄養教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状に共通する科目
- ⑤ 保育士に関する科目(教養科目・専門必修科目・専門選択科目)
- ⑥ 栄養士に関する科目
- ⑦ 司書に関する科目
- ⑧ ピアヘルパー受験資格に関する科目
- ⑨ 社会福祉主事任用資格に関する科目
- ⑩ ビジネス実務士に関する科目
- ⑪ 実践キャリア実務士

以上

① 栄養教諭二種免許状・栄養に係る教育に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
			必修	選択
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	栄養教諭活動論	2	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
	食生活に関する歴史的及び文化的事項			
	食に関する指導の方法に関する事項			
・単位数			・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目	
			2単位	0単位

② 栄養教諭二種免許状・教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育入門	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)				
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育課程・教育の方法と技術	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導	1	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	1	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習事前事後指導 栄養教育実習	1 1	
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)	2	
・単位数			・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目		
			17単位 0単位		

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

③ 幼稚園教諭二種免許状・領域及び保育内容の指導法に関する科目①

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
			必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	こどもと健康	1	
		人間関係	こどもと人間関係	1	
		環境	こどもと環境	1	
		言葉	こどもと言葉	1	
		表現	こどもと表現	1	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目			5単位 0単位	

④ 幼稚園教諭二種免許状・領域および保育内容の指導法に関する科目②

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容(健康)の指導法	2	
		保育内容(人間関係)の指導法	2	
		保育内容(環境)の指導法	2	
		保育内容(言葉)の指導法	2	
		保育内容(表現)の指導法	2	
		保育内容総論	2	
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目			12単位 0単位

⑤ 幼稚園教諭二種免許状・大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	社会的養護		2	
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			0単位 2単位 13単位

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

⑥ 幼稚園教諭二種免許状・教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		子ども家庭支援の心理学 保育の心理学	2 2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援保育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程・保育の計画と評価	2		
道徳、総合的な学習の時間、 等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習事前事後指導	1		
	学校体験活動		幼稚園教育実習Ⅰ	1		
	教職実践演習		幼稚園教育実習Ⅱ	3		
		2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		
・単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目				25単位	0単位	

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

⑦ 幼稚園教諭二種免許状・栄養教諭二種免許状に共通する科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目					
免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	体育講義 体育実技Ⅰ	1 1		
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	2		
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰ	2		

必修科目とは、免許取得のために必要という意味である。

⑧ 保育士に関する科目(教養科目)

告示による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	人間学	講義		2	2
				キリスト教学Ⅰ	講義	2		2
				キリスト教学Ⅱ	講義	2		2
				幸福論	講義		2	2
				福祉学	講義	2		2
				国際ボランティア	講義		2	2
				人文学入門	講義		2	2
				現代社会論	講義		2	2
				哲学	講義		2	2
				心理学	講義		2	2
				世界現代史	講義		2	2
				日本文学	講義		2	2
				生命科学	講義		2	2
				環境科学	講義		2	2
				経済学	講義		2	2
				法学	講義		2	2
				日本国憲法	講義		2	2
				社会学	講義		2	2
				福島学	講義		2	2
				国際平和論	講義		2	2
	ベーシックスキルズ	演習	2		2			
	キャリアデザインⅠ	講義		2	2			
	キャリアデザインⅡ	講義		2	2			
	情報演習Ⅰ	演習	2		2			
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習		2	2
				英語Ⅱ	演習		2	2
				英語Ⅲ	演習		2	2
				英語Ⅳ	演習		2	2
英語Ⅴ				演習		2	2	
英語Ⅵ				演習		2	2	
英語Ⅶ				演習		2	2	
英語Ⅷ				演習		2	2	

外国語	演習	2以上	英語Ⅸ	演習		2	2
			フランス語Ⅰ	演習		2	2
			フランス語Ⅱ	演習		2	2
			韓国語Ⅰ	演習		2	2
			韓国語Ⅱ	演習		2	2
			中国語Ⅰ	演習		2	2
			中国語Ⅱ	演習		2	2
体育	講義	1	体育講義	講義		1	1
	実技	1	体育実技Ⅰ	実技		1	1
			体育実技Ⅱ	実技		1	1
合 計		10単位以上	81単位				

保育士に関する科目(専門必修科目)

告示別表第1による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2
	社会福祉	講義	2	生活福祉論	講義	2		2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護	講義	2		2
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2
理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		2
	子ども家庭支援の心理学	講義	1	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2		2
	子どもの保健	講義	2	こどもの保健(講義)	講義	2		2
	子どもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養	演習	2		2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程・保育の計画と評価	講義	2		2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2		2
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)の指導法	演習	2		2
				保育内容(人間関係)の指導法	演習	2		2
				保育内容(環境)の指導法	演習	2		2
				保育内容(言葉)の指導法	演習	2		2
				保育内容(表現)の指導法	演習	2		2
	保育内容の理解と方法	演習	4	こどもと健康	演習	1		1
				こどもと人間関係	演習	1		1
				こどもと環境	演習	1		1
				こどもと言葉	演習	1		1
				こどもと表現	演習	1		1
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		2
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		1
	子どもの健康と安全	演習	1	こどもの健康と安全(演習)	演習	1		1
障害児保育	演習	2	特別支援保育	演習	2		2	
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護内容	演習	1		1	
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1		1	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2		2
		実習		2		2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		2
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2		2
合計		51単位		59単位				

必修科目とは、資格取得のために必要という意味である。

保育士に関する科目(専門選択科目)

別表第2による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育の本質・目的に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目	養成施設において設定		15単位以上					
				こどもの保健(演習) I	演習	1		1
				保育基礎演習	演習	2		2
				保育相談実践演習	演習	1		1
				保育内容演習(総合)	演習		2	2
				保育表現技術(身体表現)	演習		2	2
				こどもと表現Ⅱ	演習		1	1
				保育表現技術(音楽表現)	演習		2	2
				保育表現技術Ⅱ(音楽表現)	演習		2	2
				保育表現技術(造形表現)	演習		2	2
クラフトⅠ	演習		2	2				
保育実習	保育実習Ⅱ 又は 保育実習Ⅲ	実習 実習	$\left[\begin{array}{c} 2 \\ 2 \end{array} \right]$	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	実習 実習		2 2	2 2
	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	演習 演習	$\left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \end{array} \right]$	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	演習 演習		1 1	1 1
	合計		18単位以上	35単位 (9単位以上要履修)				

必修科目とは、資格取得のために必要という意味である。

⑨ 栄養士に関する科目

栄養士法施行規則別表第1 (第9条関係)の教育内容	単位数		本学の開設授業科目	単位
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2
			社会福祉論	2
			食生活論	2
			栄養士活動論	2
人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	2
			解剖生理学Ⅱ	2
			生化学	2
			疾病と治療	2
			運動生理学	2
			解剖生理学実験	1
			生化学実験	1
食品と衛生	6		食品学	2
			食品衛生学	2
			食品加工学	2
		食品学実験	1	
		食品衛生学実験	1	
栄養と健康	8	基礎栄養学	2	
		応用栄養学	2	
		臨床栄養学	2	
		栄養教育論	2	
		応用栄養学実習	1	
栄養の指導	6	栄養指導論Ⅰ	2	
		栄養指導論Ⅱ	2	
		公衆栄養学	2	
		臨床栄養学実習	1	
		栄養情報実習	1	
給食の運営	4	給食管理論	2	
		調理学	2	
		給食管理・学内実習Ⅰ	1	
		給食管理・学内実習Ⅱ	1	
		給食管理・学外実習	1	
		調理実習Ⅰ	2	
		調理実習Ⅱ	1	
調理科学実験	1			

⑩ 司書に関する科目

図書館法施行規則第4条の教育内容 科目名	単位数		本学の開設授業科目	単位
	必修	選択		
生涯学習概論	2		生涯学習概論	2
図書館概論	2		図書館概論	2
図書館制度・経営論	2		図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2		図書館情報技術論	2
図書館サービス概論	2		図書館サービス概論	2
情報サービス論	2		情報サービス論	2
児童サービス論	2		児童サービス論	2
情報サービス演習	2		情報サービス演習	4
図書館情報資源概論	2		図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2		情報資源組織論	2
資料資源組織演習	2		資料資源組織演習	4
図書館基礎特論		1		
図書館サービス特論		1	図書館サービス特論	1
図書館情報資源特論		1	図書館情報資源特論	1
図書・図書館史		1		
図書館施設論		1		
図書館総合演習		1		
図書館実習		1		

選択科目から2科目取得

⑪ ピアヘルパー受験資格に関する科目

授業科目	単位
キャリア教養学科対応	
メンタルヘルスマネジメント	2
カウンセリング演習	2
心理学	2
福祉こども専攻こども保育コース対応	
子ども家庭支援の心理学	2
保育の心理学	2
心理学	2

⑫ 社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目		本学の開設授業科目	単位数	備考
学科専攻	科目			
食物栄養専攻	社会福祉論	社会福祉論	2	
	公衆衛生学	公衆衛生学	2	
	栄養学	基礎栄養学	2	『基礎栄養学』または、『栄養指導論Ⅰ』・『栄養指導論Ⅱ』のどちらか一方で可
		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ	4	
	心理学	心理学	2	
	経済学	経済学	2	
	法学	法学	2	
教育学	教育原理	2		
福祉子ども専攻 子ども保育コース	児童福祉論	こども家庭福祉	2	
	保育理論	保育原理	2	
	教育学	教育原理	2	
	心理学	心理学	2	
	経済学	経済学	2	
	法学	法学	2	
キャリア教養学科	心理学	心理学	2	
	経済学	経済学	2	
	法学	法学	2	
	教育学	教育原理	2	

※資格を取得するためには、厚生労働大臣の指定する上記科目から3科目以上を修得して卒業することが必要。

⑬ ビジネス実務士に関する科目

科目名		資格必修選択 単位数		備考
		必修	選択	
領域1	ビジネス実務Ⅰ	2		必修：6単位以上 選択：10単位以上 総数：16単位以上
	情報演習Ⅰ		2	
	情報演習Ⅱ		2	
	ベーシックスキルズ		2	
領域2	ビジネス実務Ⅱ	2		
	特別研究		4	
領域3	福祉学	2		
	キャリアデザインⅠ		2	
	キャリアデザインⅣ		2	

必修科目とは、資格取得のために必修という意味である。

⑭ 実践キャリア実務士に関する科目

科目名		資格必修選択 単位数		備考
		必修	選択	
領域 1	キャリアマネジメント	2		必修：4単位以上 選択：12単位以上 総数：16単位以上
	アカデミックスキルズ		2	
	ビジネス実務Ⅱ		2	
	キャリア形成演習Ⅰ		1	
	キャリア形成論		2	
	プランニング入門		2	
	キャリア教養特講Ⅲ (イベントの企画)		2	
	メンタルヘルスマネジメント		2	
領域 2	ビジネス実務総合演習	2		
	情報リテラシー		2	
	キャリア形成演習Ⅱ		1	
	インターンシップ		1	

必修科目とは、資格取得のために必修という意味である。

共通教育の目的とその科目群の目標

1. 共通教育の目的

生涯を通じて不断に学び、考え、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献できる、愛と奉仕に生きる良き社会人となるために、必要な教養と知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を修得し、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を身につけた人材を養成する。

2. 科目群の目標および内容

(1) 人間総合科目群

「建学の精神」を深く理解し、実践することができるために、人類が読み継いできた「聖書」を学ぶことによって、各々の持っている固有の使命に気づき、その実現を図る力を養う。また、ボランティア活動などの体験を通して、知的・情緒的、倫理的に成長し、多様なものの見方や社会に対する認識ならびに責任感を養う。

(2) 教養科目群

学問を探求するために必要な幅広い知識と柔軟な思考を身につけ、現代社会における諸課題を正しく理解し、他の領域との関連を考慮しながら考察を深める力を養う。

(3) 外国語科目群

外国語の基礎的な知識を習得し、効果的に学習する力をつけ、異文化コミュニケーションに必要な表現力と行動力を養う。

(4) キャリア開発科目群

ビジネス社会での基本となる日本語能力、ビジネス実務の基礎、コミュニケーション力、情報の活用法などのスキルを身につけ、卒業後の進路(就職、編入等)を含めたライフキャリアをデザインできるようになる。

(5) 健康科学科目群

心と体を一体としてとらえ、心身の健康と運動についての理解を深めながら「自分」の存在に気づき、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を養う。

カリキュラム一覧

66回生 2020年度入学者用

共通科目 1年

授業科目群	科目コード	科目名	内容他	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件										GPA対象科目	備考					
					必修	選択		前期	後期	免状	栄養	二種	保育	栄養	士	ビジ	実務	司	ピア			任用	社会			
人間総合科目群	111801	キリスト教学I	キャリア教養学科	2	○		講義	○																		
	111802	キリスト教学I	食物栄養専攻	2	○		講義	○																		
	111803	キリスト教学I	福祉こども専攻	2	○		講義	○				△														
	210101	福祉学	ボランティアワーク 講義15h実習30h	2	○		講義	○				△		○												
	210301	国際ボランティア		2		○	講義	○				△														
	131311	福島学		2		○	講義	○				△														
	210401	国際平和論	戦争と平和	2		○	講義	○				△														沖縄研修
教養科目群	130001	哲学		2		○	講義		○			△													○	
	130401	心理学		2		○	講義		○			△													○	
	130402	心理学	キャリア教養学科	2		○	講義	○										○		△					○	
	132601	経済学		2		○	講義	○				△													△	○
	132801	法学		2		○	講義		○			△													△	○
	135901	日本国憲法		2		○	講義	○			○	○	△													○
	138801	教育原理		2		○	講義		○		○	○	○												△	○
	138901	教育心理学																								
外国語科目群	173201	英語 I	キャリア教養学科	2		○	演習	○																		○
	173202	英語 I	食物栄養専攻	2		○	演習	○		○																○
	173203	英語 I	福祉こども専攻	2		○	演習	○				○	△													○
	173301	英語 II	編入学希望者(講読)	2		○	演習	○					△													○
	173401	英語 III	編入学希望者(講読)	2		○	演習	○					△													○
	173501	英語 IV	編入学希望者(講読)	2		○	演習		○				△													○
	173601	英語 V	編入学希望者(講読)	2		○	演習		○				△													○
	174301	韓国語 I		2		○	演習		○				△													○
	174501	中国語 I		2		○	演習		○				△													○
キャリア開発科目群	180701	ベーシックスキルズ		2	○		演習	○				△		△												
	181201	キャリアデザインI		2		☆	講義	○				△		△												
	181301	キャリアデザインII		2		☆	講義		○			△														
	191001	ビジネス実務I		2		○	演習	○						○												○
	191101	ビジネス実務II		2		○	演習		○					○	△											○
	191801	情報演習 I	キャリア教養学科	2	○		演習	○						△												○
	191901	情報演習 II	キャリア教養学科	2		○	演習		○					△												○
	191802	情報演習 I	食物栄養専攻	2	○		演習	○			○			△												○
	191902	情報演習 II	食物栄養専攻	2		○	演習		○					△												○
	191803	情報演習 I	福祉こども専攻	2	○		演習	○				○	△		△											○
	191903	情報演習 II	福祉こども専攻	2		○	演習		○					△												○
健康科学 科目群	230101	体育講義		1		○	講義	○		○	○	○														○
	231001	体育実技 I	キャリア教養学科 食物栄養専攻	1		○	実技	○			○															○
	231002	体育実技 I	福祉こども専攻	1		○	実技	○				○	○													○

資格取得要件欄の○印は必修科目

☆ 必修ではないが、履修することが望ましい

※1 保育士：2年間で、人間総合科目群・教養科目群・キャリア開発科目群の△から6単位以上、外国語科目群の△から2単位以上 (P.44～45を参照)

※2 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上 (P.50の科目一覧を参照)

※3 実践キャリア実務士：2年間で、選択科目△から12単位以上 (P.51の科目一覧を参照)

※4 社会福祉主任任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修 (P.50の科目一覧を参照)

共通科目 2年

授業科目群	科目コード	科目名	内容	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件										備考					
					必修	選択		前期	後期	栄養教諭二種免許状	栄養教諭二種免許状	幼稚園教諭免許状	保育士 ※1	栄養士	ビジネス実務 ※2	実践キャリア実務士 ※3	司書	ピアヘルパー	社会福祉士主任任用資格 ※4		GPA対象科目				
人間総合科目群	111901	キリスト教学Ⅱ	キャリア教養学科	2	○		講義	○																	
	111902	キリスト教学Ⅱ	食物栄養専攻	2	○		講義		○																
	111903	キリスト教学Ⅱ	福祉こども専攻	2	○		講義		○				△												
	210301	国際ボランティア		2		○	講義	○					△												
	131311	福島学		2		○	講義		○				△												
	210401	国際平和論	戦争と平和	2		○	講義		○				△												沖縄研修
教養科目群	130001	哲学		2		○	講義		○			△												○	
	130401	心理学		2		○	講義		○			△												○	
	130402	心理学	キャリア教養学科	2		○	講義	○									○	△						○	
	132601	経済学		2		○	講義	○				△												○	
	132801	法学		2		○	講義		○			△												○	
	135901	日本国憲法		2		○	講義	○				△												○	
	138801	教育原理		2		○	講義		○														△	○	
	138901	教育心理学		2		○	演習	○		○														○	
外国語科目群	173701	英語Ⅵ	英語講読	2		○	演習	○				△												○	
	173801	英語Ⅶ	英語購読	2		○	演習	○				△												○	
	174301	韓国語Ⅰ		2		○	演習		○			△												○	
	174501	中国語Ⅰ		2		○	演習		○			△												○	
キャリア開発科目群	181401	キャリアデザインⅢ		2		○	講義	○																○	
	181501	キャリアデザインⅣ		2		○	講義		○					△										○	
	192001	情報演習Ⅲ		2		○	演習	○																○	
	192101	情報演習Ⅳ		2		○	演習		○															○	
健康科学科目群	230101	体育講義		1		○	講義	○																○	
	231101	体育実技Ⅱ		1		○	実技		○															○	

資格取得要件欄の○印は必修科目

☆ 必修ではないが、履修することが望ましい

※1 保育士：2年間で、人間総合科目群・教養科目群・キャリア開発科目群の△から6単位以上、外国語科目群の△から2単位以上(P.44～45を参照)

※2 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※3 実践キャリア実務士：2年間で、選択科目△から12単位以上(P.51の科目一覧を参照)

※4 社会福祉士主任任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.50の科目一覧を参照)

キャリア教養学科 1年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備考	
			必修	選択		前期	後期	士 ビ ジ ネ ス ※ 1 実 務	実 践 キ ャ リ ア ※ 2 実 務	司 書	ビ ア ヘ ル パ ー	社 会 福 祉 主 事 任 用 資 格 ※ 3			
328301	アカデミックスキルズ	2	○		講義		○		△						
332801	労働法制と人権Ⅰ	2		○	講義	○							○		
332901	労働法制と人権Ⅱ	2		○	講義		○						○		
330901	経営学基礎	2		○	講義		○						○		
331201	地域形成論	2		○	講義	○							○		
322201	生涯学習概論	2		○	講義		○			○			○		
322001	キャリアマネジメント	2	○		講義	○			○						
328901	簿記入門	2		○	講義・演習		○						○		
328401	キャリア形成論	2		○	講義	○			△				○		
328501	キャリア形成演習Ⅰ	1		○	演習	○			△						
328601	キャリア形成演習Ⅱ	1		○	演習		○		△						
323501	プランニング入門	2		○	講義・演習		○		△				○		
328701	コミュニケーション論	2		○	講義		○						○		
333601	TOEIC演習Ⅰ	2		○	講義		○						○		
333001	リーディングスキルズⅠ	2		○	講義	○							○		
333101	リーディングスキルズⅡ	2		○	講義		○						○		
320901	観光英語Ⅰ	2		○	講義・演習		○						○		
325101	英語演習(Basic)	2		○	講義・演習		○						○		
331401	キャリア教養特講Ⅰ	2		○	講義・演習		○						○		特殊テーマに関する研究： Writing
331501	キャリア教養特講Ⅱ	2		○	講義・演習	○							○		特殊テーマに関する研究： サービス業のしくみ
331701	キャリア教養特講Ⅳ	2		○	講義・演習	○									特殊テーマに関する研究： ファイナンシャルプラン ニングの基礎
331801	キャリア教養特講Ⅴ	2		○	講義・演習		○						○		特殊テーマに関する研究： 生涯発達心理学
333801	インターンシップ	1		○	演習	○			△						

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※2 実践キャリア実務士：2年間で、選択科目△から12単位以上(P.51の科目一覧を参照)

※3 社会福祉主事任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.50の科目一覧を参照)

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備考
			必修	選択		前期	後期	ビジネス実務 ※1	実践キャリア実務士 ※2	司書	ピアヘルパー	社会福祉士 任用資格※3		
329201	北米の歴史と文化	2		○	講義	○							○	
332201	文化人類学Ⅰ	2		○	講義	○							○	
332301	文化人類学Ⅱ	2		○	講義		○						○	
332401	戦後日本社会史Ⅰ	2		○	講義	○							○	
332501	戦後日本社会史Ⅱ	2		○	講義		○						○	
332601	現代の国際関係Ⅰ	2		○	講義	○							○	
332701	現代の国際関係Ⅱ	2		○	講義		○						○	
331001	社会調査法入門	2		○	講義	○							○	
331101	公共政策論	2		○	講義		○						○	
323101	企業論	2		○	講義		○						○	
331301	ビジネス実務総合演習	2		○	演習	○			○				○	
325701	カウンセリング演習	2		○	演習		○				○		○	
328801	メンタルヘルスマネジメント	2		○	講義・演習	○			△		○		○	
329101	リスクコミュニケーション論	2		○	講義		○						○	
333201	コミュニケーションスキルズⅠ	2		○	演習	○							○	
333301	コミュニケーションスキルズⅡ	2		○	演習		○						○	
333401	上級リーディングⅠ	2		○	講義	○							○	
333501	上級リーディングⅡ	2		○	講義		○						○	
328201	異文化理解	2		○	講義		○						○	
324301	観光英語Ⅱ	2		○	講義・演習	○							○	
333701	TOEIC演習Ⅱ	2		○	講義	○							○	
329001	情報リテラシー	2		○	講義・演習	○			△				○	
331601	キャリア教養特講Ⅲ	2		○	講義・演習	○			△				○	特殊テーマに関する研究：イベントの企画
328101	特別研究	4	○		演習	○		△						

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※2 実践キャリア実務士：2年間で、選択科目△から12単位以上(P.51の科目一覧を参照)

※3 社会福祉士任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.50の科目一覧を参照)

食物栄養専攻 1年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件							GPA対象科目	備考
			必修	選択		前期	後期	栄養士	栄養教諭二種免許	ビジネス実務士※1	社会福祉士任用資格※2	フードサイエンス	フードコーディネーター3級			
620201	公衆衛生学	2	○		講義	○		○	○			△			○	
620501	生化学	2	○		講義		○	○	○				○		○	
621301	臨床栄養学	2	○		講義		○	○	○						○	
622801	解剖生理学Ⅰ	2	○		講義	○		○	○						○	
622901	解剖生理学Ⅱ	2	○		講義		○	○	○						○	
620801	食品学	2	○		講義	○		○	○				○	○	○	
620901	食品衛生学	2	○		講義		○	○	○				○		○	
621101	食品学実験	1	○		実験		○	○	○				○		○	
619101	基礎栄養学	2	○		講義	○		○	○			▲	○	○	○	
619201	応用栄養学	2		○	講義		○	○	○						○	
621401	栄養指導論Ⅰ	2	○		講義	○		○	○			▲		○	○	
621801	給食管理論	2	○		講義		○	○	○					○	○	
621901	調理学	2	○		講義	○		○	○					○	○	
619501	給食管理・学内実習Ⅰ	1	○		実習		○	○	○					○	○	
622001	調理実習Ⅰ	2	○		実習		○	○	○					○	○	
612001	調理科学実験 (官能評価を含む)	1		○	実験	○		○	○				○		○	
618101	栄養士活動論	2		○	講義		○	○	○					○	○	
623101	食生活論	2	○		講義	○		○	○					○	○	
622301	栄養教育論	2	○		講義		○	○	○						○	
700002	食育論	2			講義		○	☆	☆					○		特別学習Ⅰ 卒業単位に含まれない
700601	フードマネジメント (食品安全性論)	2			講義	○		☆	☆				○			特別学習Ⅲ 卒業単位に含まれない

資格取得要件欄の○印は必修科目

☆ 栄養士免許状および栄養教諭免許状を取得する学生は、履修することが望ましい

※1 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※2 社会福祉士主任任用資格：2年間で、指定科目△から3科目以上選択必修。▲についてはP.50の科目一覧を参照のこと。

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件							備考	
			必修	選択		前期	後期	栄養士	栄養教諭二種免許状	ビジネス実務士※1	社会福祉士任用資格※2	フードサイエンス	フードコーディネーター3級	GPA対象科目		
617701	社会福祉論	2		○	講義		○	○	○			△			○	
619801	疾病と治療	2		○	講義		○	○	○						○	
620601	解剖生理学実験	1		○	実験		○	○	○						○	
623201	運動生理学	2	○		講義	○		○	○						○	
620701	生化学実験	1	○		実験	○		○	○				○		○	
621001	食品加工学 (食品機能学を含む)	2		○	講義	○		○	○				○	○	○	
621201	食品衛生学実験	1		○	実験	○		○	○				○		○	
619301	応用栄養学実習	1		○	実習		○	○	○						○	
621501	栄養指導論Ⅱ	2	○		講義	○		○	○		▲				○	
614101	公衆栄養学	2	○		講義		○	○	○						○	
621601	臨床栄養学実習	1		○	実習	○		○	○						○	
621701	栄養情報実習	1		○	実習		○	○	○				○		○	
619701	給食管理・学外実習	1		○	実習	○		○	○						○	
619601	給食管理・学内実習Ⅱ	1	○		実習	○		○	○					○	○	
622101	調理実習Ⅱ	1		○	実習	○		○	○					○	○	
622201	食品加工学実習	1		☆	実習		○	☆	☆				○		○	
622700	特別研究	4	○		演習		○			△			○			
700302	地域食生活論	2			講義	○		☆	☆					○		特別学習Ⅱ 卒業単位に含まれない
701301	栄養士実力養成講座	1			講義		○	☆	☆							特別学習Ⅵ 卒業単位に含まれない

資格取得要件欄の○印は必修科目

☆ 栄養士免許状および栄養教諭免許状を取得する学生は、履修することが望ましい

※1 栄養士実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※2 社会福祉士主任任用資格：2年間で、指定科目△から3科目以上選択必修。▲についてはP.50の科目一覧を参照のこと。

福祉子ども専攻 子ども保育コース 1年 専門科目

科目コード	科目名	単 位	卒業要件		授 業 形 態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備 考	
			必 修	選 択		前 期	後 期	種 幼 免 許 状 ※1 二	保 育 士 ※2	士 ビ ジ ネ ス ※3	ピアヘルパー	社 会 福 祉 主 事 任 用 資 格 ※4			
543501	保育原理	2		○	講義	○			○				△	○	
542901	子ども家庭福祉	2		○	講義		○		○				△	○	
540901	保育基礎演習	2		○	演習	○			○					○	
548001	こどもと健康	1		○	演習	○		○	○					○	
548201	こどもと人間関係	1		○	演習	○		○	○					○	
548401	こどもと環境	1		○	演習	○		○	○					○	
548601	こどもと言葉	1		○	演習	○		○	○					○	
548801	こどもと表現	1		○	演習	○		○	○					○	
548101	保育内容(健康)の指導法	2		○	演習		○	○	○					○	
548301	保育内容(人間関係)の指導法	2		○	演習		○	○	○					○	
548501	保育内容(環境)の指導法	2		○	演習		○	○	○					○	
548701	保育内容(言葉)の指導法	2		○	演習	○		○	○					○	
548901	保育内容(表現)の指導法	2		○	演習		○	○	○					○	
547901	保育内容総論	2		○	演習	○		○	○					○	
547701	保育者論	2		○	講義		○	○	○					○	
549801	特別支援保育	2		○	演習		○	○	○					○	
547801	教育課程・保育の計画と評価	2		○	講義		○	○	○					○	
546101	保育実習指導Ⅰ	2		○	演習		○		○						1年後期～2年後期
546401	保育実習Ⅰ(保育所)	2		○	実習		○		○						
547301	乳児保育Ⅰ	2		○	講義	○			○					○	
547401	乳児保育Ⅱ	1		○	演習		○		○					○	
547501	こどもの保健(講義)	2		○	講義		○		○					○	
549001	保育表現技術(身体表現)	2		○	演習		○		△					○	
549101	こどもと表現Ⅱ	1		○	演習	○			△					○	
549201	保育表現技術(音楽表現)	2		○	演習		○		△					○	
549401	保育表現技術(造形表現)	2		○	演習		○		△					○	
700901	子育て支援広場実践演習	2			演習		○								特別学習Ⅳ 卒業単位に含まれない

資格取得要件欄の○印は、必修科目

※1 幼稚園教諭二種免許状：△は選択科目(P.42～43を参照)

※2 保育士：△は選択科目、▲は備考欄のとおり(P.44～47を参照)

※3 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※4 社会福祉主事任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.50の科目一覧を参照)

福祉こども専攻 こども保育コース 2年 専門科目

科目コード	科目名	単 位	卒業要件		授 業 形 態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備 考
			必 修	選 択		前 期	後 期	種 幼 稚 園 教 諭 二 種 免 許 状 ※1	保 育 士 ※2	士 ビ ジ ネ ス 実 務 ※3	ビ ア ヘ ル パ ー	社 会 福 祉 主 事 任 用 資 格 ※4		
530502	生活福祉論	2	○		講義	○			○				○	
546701	社会的養護内容	1		○	演習		○		○				○	
546801	社会的養護	2		○	講義	○		△	○				○	
549701	子ども家庭支援の心理学	2		○	講義		○		○			○	○	
549501	保育の心理学	2		○	講義	○			○			○	○	
547201	子どもの理解と援助	2		○	演習	○			○				○	
542401	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		○	演習		○		○				○	
546101	保育実習指導Ⅰ	2		○	演習		○		○					1年後期～2年後期
546201	保育実習指導Ⅱ	1		○	演習		○		▲					保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
546301	保育実習指導Ⅲ	1		○	演習		○		▲					保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
546501	保育実習Ⅰ(施設)	2		○	実習	○			○					
536101	保育実習Ⅱ	2		○	実習	○			▲					保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
536201	保育実習Ⅲ	2		○	実習	○			▲					保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
544501	こどもの食と栄養	2		○	演習		○		○				○	
543001	保育相談実践演習	1		○	演習		○		○				○	
543301	こどもの保健(演習)Ⅰ	1		○	演習	○			○				○	
547601	こどもの健康と安全(演習)	1		○	演習	○			○				○	
547101	子ども家庭支援論	2		○	講義		○		○				○	
547001	子育て支援	1		○	演習		○		○				○	
546001	保育内容演習(総合)	2		○	演習		○		△				○	芸術表現発表会を含む
549301	保育表現技術Ⅱ(音楽表現)	2		○	演習		○		△				○	
542600	特別研究	4	○		演習		○				△			
701401	就職対策講座(保育職)	1			演習	○								特別学習Ⅶ 卒業単位に含まれない

資格取得要件欄の○印は、必修科目

※1 幼稚園教諭二種免許状：△は選択科目(P.42～43を参照)

※2 保育士：△は選択科目、▲は備考欄のとおり(P.44～47を参照)

※3 ビジネス実務士：2年間で、選択科目△から10単位以上(P.50の科目一覧を参照)

※4 社会福祉主事任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.50の科目一覧を参照)

資格取得科目 *資格取得科目は卒業要件単位に含まれません

《教職科目 幼稚園教諭二種免許状》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 二種免許状	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
711503	教育方法論(幼稚園)	2			講義				○	○		
711903	教育相談(幼稚園)	2			講義			○		○		
712401	幼稚園教育実習事前事後指導	1			実習	○				○		
712501	幼稚園教育実習Ⅰ	1			実習		○			○		
712601	幼稚園教育実習Ⅱ	3			実習			○		○		

《教職科目 栄養教諭二種免許状》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 二種免許状	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
710101	教職入門	2			講義		○			○		
713701	教育課程・教育の方法と技術	2			講義		○			○		(隔年開講)
711801	生徒指導	1			講義		○			○		(隔年開講)
713401	教育相談(栄養教諭)	1			講義			○		○		
713301	教職実践演習(栄養教諭)	2			演習				○	○		
712901	栄養教育実習事前事後指導	1			講義				○	○		
713001	栄養教育実習	1			実習			○		○		
712701	栄養教諭活動論	2			講義			○		○		
713501	特別支援教育入門	1			講義				○	○		
713601	道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2			講義		○			○		

《司書》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 司書	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
740101	図書館概論	2			講義	○				○		
322201	生涯学習概論(学科専門科目)	2			講義		○			○		
742901	図書館情報技術論	2			講義			○		○		
743001	図書館制度・経営論	2			講義		○			○		
743101	図書館サービス概論	2			講義	○				○		
743201	情報サービス論	2			講義		○			○		
743301	児童サービス論	2			講義			○		○		
743401	情報サービス演習	4			演習				○	○		
743501	図書館情報資源概論	2			講義		○			○		
743601	情報資源組織論	2			講義			○		○		
743701	情報資源組織演習	4			演習				○	○		
743901	図書館サービス特論	1			講義				○	○		
744001	図書館情報資源特論	1			講義				○	○		

キャリア教養学科 カリキュラム一覧

	授業科目	単位	
		必修	選択
専門教養の領域	アカデミックスキルズ	2	
	文化人類学Ⅰ		2
	文化人類学Ⅱ		2
	戦後日本社会史Ⅰ		2
	戦後日本社会史Ⅱ		2
	現代の国際関係Ⅰ		2
	現代の国際関係Ⅱ		2
	労働法制と人権Ⅰ		2
	労働法制と人権Ⅱ		2
	経営学基礎		2
	社会調査法入門		2
	公共政策論		2
	地域形成論		2
生涯学習概論		2	
職業スキルの領域	キャリアマネジメント	2	
	簿記入門		2
	企業論		2
	キャリア形成論		2
	キャリア形成演習Ⅰ		1
	キャリア形成演習Ⅱ		1
	プランニング入門		2
	コミュニケーション論		2
	ビジネス実務総合演習		2
	カウンセリング演習		2
	メンタルヘルスマネジメント		2
	情報リテラシー		2
	リスクコミュニケーション論		2
インターンシップ		1	
外国語・海外事情の領域	リーディングスキルズⅠ		2
	リーディングスキルズⅡ		2
	コミュニケーションスキルズⅠ		2
	コミュニケーションスキルズⅡ		2
	上級リーディングⅠ		2
	上級リーディングⅡ		2
	異文化理解		2
	北米の歴史と文化		2
	観光英語Ⅰ		2
	観光英語Ⅱ		2
	TOEIC演習Ⅰ		2
	TOEIC演習Ⅱ		2
	英語演習(Basic)		2
	キャリア教養特講Ⅰ～Ⅷ 各2単位		2
	特別研究	4	
卒業要件単位		40	

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

単位取得表

単位取得表(キャリア教養学科 1年次)

66回生 2020年度入学者用

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅰ	2			アカデミックスキルズ	2		
福祉学	2			労働法制と人権Ⅰ		2	
国際ボランティア		2		労働法制と人権Ⅱ		2	
福島学		2		経営学基礎		2	
国際平和論		2		地域形成論		2	
哲学		2		生涯学習概論		2	
心理学		2		キャリアマネジメント	2		
経済学		2		簿記入門		2	
法学		2		キャリア形成論		2	
日本国憲法		2		キャリア形成演習Ⅰ		1	
教育原理		2		キャリア形成演習Ⅱ		1	
教育心理学		2		プランニング入門		2	
英語Ⅰ		2		コミュニケーション論		2	
英語Ⅱ		2		TOEIC演習Ⅰ		2	
英語Ⅲ		2		リーディングスキルズⅠ		2	
英語Ⅳ		2		リーディングスキルズⅡ		2	
英語Ⅴ		2		観光英語Ⅰ		2	
韓国語Ⅰ		2		英語演習(Basic)		2	
中国語Ⅰ		2		キャリア教養特講Ⅰ		2	
ベーシックスキルズ	2			キャリア教養特講Ⅱ		2	
キャリアデザインⅠ		2		キャリア教養特講Ⅳ		2	
キャリアデザインⅡ		2		キャリア教養特講Ⅴ		2	
ビジネス実務Ⅰ		2		インターンシップ		1	
ビジネス実務Ⅱ		2					
情報演習Ⅰ	2						
情報演習Ⅱ		2					
体育講義		1					
体育実技Ⅰ		1					
小計(共通1年)			A	小計(専門1年)			B

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	2			北米の歴史と文化		2	
国際ボランティア		2		文化人類学Ⅰ		2	
福島学		2		文化人類学Ⅱ		2	
国際平和論		2		戦後日本社会史Ⅰ		2	
哲学		2		戦後日本社会史Ⅱ		2	
心理学		2		現代の国際関係Ⅰ		2	
経済学		2		現代の国際関係Ⅱ		2	
法学		2		社会調査法入門		2	
日本国憲法		2		公共政策論		2	
教育原理		2		企業論		2	
教育心理学		2		ビジネス実務総合演習		2	
英語Ⅵ		2		カウンセリング演習		2	
英語Ⅶ		2		メンタルヘルスマネジメント		2	
韓国語Ⅰ		2		リスクコミュニケーション論		2	
中国語Ⅰ		2		コミュニケーションスキルズⅠ		2	
キャリアデザインⅢ		2		コミュニケーションスキルズⅡ		2	
キャリアデザインⅣ		2		上級リーディングⅠ		2	
情報演習Ⅲ		2		上級リーディングⅡ		2	
情報演習Ⅳ		2		異文化理解		2	
体育講義		1		観光英語Ⅱ		2	
体育実技Ⅱ		1		TOEIC演習Ⅱ		2	
				情報リテラシー		2	
				キャリア教養特講Ⅲ		2	
				特別研究	4		
小計(共通2年)			C	小計(専門2年)			D
共通1・2年合計(卒業要件20単位以上)			A + C	専門1・2年合計(卒業要件40単位以上)			B + D
自由選択単位数(A + C - 20)			E	自由選択単位数(B + D - 40)			F
				自由選択単位数合計(卒業要件8単位以上)			E + F

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学 I	2			公衆衛生学	2		
福祉学	2			生化学	2		
国際ボランティア		2		臨床栄養学	2		
福島学		2		解剖生理学 I	2		
国際平和論		2		解剖生理学 II	2		
哲学		2		食品学	2		
心理学		2		食品衛生学	2		
経済学		2		食品学実験	1		
法学		2		基礎栄養学	2		
日本国憲法		2		応用栄養学		2	
教育原理		2		栄養指導論 I	2		
教育心理学		2		給食管理論	2		
英語 I		2		調理学	2		
英語 II		2		給食管理・学内実習 I	1		
英語 III		2		調理実習 I	2		
英語 IV		2		調理科学実験(官能評価を含む)		1	
英語 V		2		栄養士活動論		2	
韓国語 I		2		食生活論	2		
中国語 I		2		栄養教育論	2		
ベーシックスキルズ	2						
キャリアデザイン I		2					
キャリアデザイン II		2					
ビジネス実務 I		2					
ビジネス実務 II		2					
情報演習 I	2						
情報演習 II		2					
体育講義		1					
体育実技 I		1					
小計(共通1年)			A	小計(専門1年)			B

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	2			社会福祉論		2	
国際ボランティア		2		疾病と治療		2	
福島学		2		解剖生理学実験		1	
国際平和論		2		運動生理学	2		
哲学		2		生化学実験	1		
心理学		2		食品加工学(食品機能学を含む)		2	
経済学		2		食品衛生学実験		1	
法学		2		応用栄養学実習		1	
日本国憲法		2		栄養指導論Ⅱ	2		
教育原理		2		公衆栄養学	2		
教育心理学		2		臨床栄養学実習		1	
英語Ⅵ		2		栄養情報実習		1	
英語Ⅶ		2		給食管理・学外実習		1	
韓国語Ⅰ		2		給食管理・学内実習Ⅱ	1		
中国語Ⅰ		2		調理実習Ⅱ		1	
キャリアデザインⅢ		2		食品加工学実習		1	
キャリアデザインⅣ		2		特別研究	4		
情報演習Ⅲ		2					
情報演習Ⅳ		2					
体育講義		1					
体育実技Ⅱ		1					
				小計(専門2年)			D
				専門1・2年合計(卒業要件40単位以上)			B + D
自由選択単位数(A + C - 20)			E	自由選択単位数(B + D - 40)			F
				自由選択単位数合計(卒業要件8単位以上)			E + F

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅰ	2			保育原理		2	
福祉学	2			こども家庭福祉		2	
国際ボランティア		2		保育基礎演習		2	
福島学		2		こどもと健康		1	
国際平和論		2		こどもと人間関係		1	
哲学		2		こどもと環境		1	
心理学		2		こどもと言葉		1	
経済学		2		こどもと表現		1	
法学		2		保育内容(健康)の指導法		2	
日本国憲法		2		保育内容(人間関係)の指導法		2	
教育原理		2		保育内容(環境)の指導法		2	
英語Ⅰ		2		保育内容(言葉)の指導法		2	
英語Ⅱ		2		保育内容(表現)の指導法		2	
英語Ⅲ		2		保育内容総論		2	
英語Ⅳ		2		保育者論		2	
英語Ⅴ		2		特別支援保育		2	
韓国語Ⅰ		2		教育課程・保育の計画と評価		2	
中国語Ⅰ		2		保育実習指導Ⅰ		2	
ベーシックスキルズ	2			保育実習Ⅰ(保育所)		2	
キャリアデザインⅠ		2		乳児保育Ⅰ		2	
キャリアデザインⅡ		2		乳児保育Ⅱ		1	
ビジネス実務Ⅰ		2		こどもの保健(講義)		2	
ビジネス実務Ⅱ		2		保育表現技術(身体表現)		2	
情報演習Ⅰ	2			こどもと表現Ⅱ		1	
情報演習Ⅱ		2		保育表現技術(音楽表現)		2	
体育講義		1		保育表現技術(造形表現)		2	
体育実技Ⅰ		1					
小計(共通1年)			A	小計(専門1年)			B

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

共通科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	2			生活福祉論	2		
国際ボランティア		2		社会的養護内容		1	
福島学		2		社会的養護		2	
国際平和論		2		子ども家庭支援の心理学		2	
哲学		2		保育の心理学		2	
心理学		2		子どもの理解と援助		2	
経済学		2		保育・教職実践演習(幼稚園)		2	
法学		2		保育実習指導Ⅰ		2	
日本国憲法		2		保育実習指導Ⅱ		1	
教育原理		2		保育実習指導Ⅲ		1	
教育心理学		2		保育実習Ⅰ(施設)		2	
英語Ⅵ		2		保育実習Ⅱ		2	
英語Ⅶ		2		保育実習Ⅲ		2	
韓国語Ⅰ		2		こどもの食と栄養		2	
中国語Ⅰ		2		保育相談実践演習		1	
キャリアデザインⅢ		2		こどもの保健(演習)Ⅰ		1	
キャリアデザインⅣ		2		こどもの健康と安全(演習)		1	
情報演習Ⅲ		2		子ども家庭支援論		2	
情報演習Ⅳ		2		子育て支援		1	
体育講義		1		保育内容演習(総合)		2	
体育実技Ⅱ		1		保育表現技術Ⅱ(音楽表現)		2	
				特別研究	4		
小計(共通2年)			C	小計(専門2年)			D
共通1・2年合計(卒業要件20単位以上)			A + C	専門1・2年合計(卒業要件40単位以上)			B + D
自由選択単位数(A + C - 20)			E	自由選択単位数(B + D - 40)			F
				自由選択単位数合計(卒業要件8単位以上)			E + F

単位取得表(資格取得科目)

*資格取得科目は卒業要件単位に含まれません

《教職科目 幼稚園教諭》

専門科目	単位数	取得単位数
教育方法論(幼稚園)	2	
教育相談(幼稚園)	2	
幼稚園教育実習事前事後指導	1	
幼稚園教育実習Ⅰ	1	
幼稚園教育実習Ⅱ	3	
合 計		

《教職科目 栄養教諭》

専門科目	単位数	取得単位数
教職入門	2	
教育課程・教育の方法と技術	2	
生徒指導	1	
教育相談(栄養教諭)	1	
教職実践演習(栄養教諭)	2	
栄養教育実習事前事後指導	1	
栄養教育実習	1	
栄養教諭活動論	2	
特別支援教育入門	1	
道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2	
合 計		

《司書》

専門科目	単位数	取得単位数
図書館概論	2	
生涯学習概論(学科専門科目)	2	
図書館情報技術論	2	
図書館制度・経営論	2	
図書館サービス概論	2	
情報サービス論	2	
児童サービス論	2	
情報サービス演習	4	
図書館情報資源概論	2	
情報資源組織論	2	
情報資源組織演習	4	
図書館サービス特論	1	
図書館情報資源特論	1	
合 計		

合同講座・放送大学・単位互換

本学の授業のほかに、学外で学習した内容を本学の単位として認められる方法があります。自分の専門性を高めたり、教養を深めたりするために、この学習方法をぜひ、活用してみてください。しかし、学外の科目を履修する前に、単位として認められることを予め教学部で確認してください。

1. 生涯学習センター合同講座

マリアンホールにある生涯学習センターはいくつか、単位として認定できる合同講座を開講しています。これらの講座は無料です。合同講座の単位認定を希望する学生は、生涯学習センターで講座を申し込んでください。単位認定の基準については、短大正課の基準と同様です。

2. 福島県内大学の単位互換制度

福島県の大学は単位互換制度に参加しているので、他の大学の科目を本学の単位として認めることができます。しかし、この制度を利用できるのは2年生だけです。どの大学でどういう科目がとれるかについては、説明会に参加し、単位互換担当の教職員に相談してください。

3. 放送大学

本学の学生は放送大学の講座も履修できます。詳細は説明会または単位互換担当の教職員まで問い合わせてください。